

2021 地下の正倉院展 木簡を科学するⅡ

展 示 木 簡 リ ス ト

展示番号	木簡の内容	1 期 10/ 9 ～10/24	2 期 10/26～11/ 7
木簡の年輪を測る			
1	板目材の木簡 1 ー 荒炭の借用依頼の手紙の木簡		
2	板目材の木簡 2 ー 「鳥」字などを書き連ねた習書木簡		
3	板目材の木簡 3 ー 岡本宅からのササゲの進上状		
4	板目材の木簡 4 ー 言偏の文字などを記した習書木簡		
5	榎目材の木簡 1 ー 七言絶句を書いた木簡		
6	榎目材の木簡 2 ー 毎年の勤務評価に使われた木簡		
7	榎目材の木簡 3 ー 藤原麻呂宅に考文銭と智識銭の徴収を依頼する手紙の木簡		
8	榎目材の木簡 4 ー 「官」「宮」など似た文字を記す習書木簡		
9	榎目材の荷札 1 ー 駿河国からのカツオの荷札 1		
◎ 10	榎目材の荷札 2 ー 長門国からのワカメの荷札		
11	榎目材の荷札 3 ー 相模国からのクキの荷札		
12	榎目材の荷札 4 ー 越前国からの大豆の荷札		
13	榎目材の荷札 5 ー 尾張国からの庸米の荷札		
14	榎目材の荷札 6 ー 周防国からの調の塩の荷札		
◎ 15	榎目材の荷札 7 ー 河内国からの難酒の荷札		
16	榎目材の荷札 8 ー 能登国からの調のイリコの荷札		
木簡のカタチをとらえる			
17	木簡と三次元計測 1 ー 僧の座に敷くムシロの付札		
18	木簡と三次元計測 2 ー 刻書のある題籤軸		
19	木簡と三次元計測 3 ー 長屋王邸に届けられた白米の荷札		
20	木簡と三次元計測 4 ー 多岐嶋の役人の勤務評定資料の付札		
○ 21 ☆	特徴的な形状の木簡 1 ー 案麻郡司が手紙を進上した際の封緘木簡		
22	特徴的な形状の木簡 2 ー 出羽国の郡司考状帳の軸		
23	特徴的な形状の木簡 3 ー 肥後国の兵士歴名帳の軸		
24	特徴的な形状の木簡 4 ー 四つ葉のクローバー状に書かれたまじないの木簡		
◎ 25	特徴的な形状の木簡 5 ー 長い材から切り折ったままの札たち		
木簡のウラをよむ			
26 ☆	「螺」と記された木簡 1 ー 隠伎国からのサザエの荷札		
27 ☆	「宇尔」と記された木簡 1 ー ウニの付札（?）		
28 ☆	「螺」と記された木簡 2 ー サザエの付札		
29 ☆	「宇尔」と記された木簡 2 ー 若狭国からのウニの荷札		

展示番号	木簡の内容	1 期 10/ 9 ～10/24	2 期 10/26～11/ 7
30☆	西大寺食堂院の木簡 1ー ナスやウリなどを記した帳簿木簡		
31☆	西大寺食堂院の木簡 2ー サヤササゲ（？）の付札		
32☆	西大寺食堂院の木簡 3ー ウリの漬物の付札		
33☆	西大寺食堂院の木簡 4ー 「東園」からのウリなどの進上状		
34☆	西大寺食堂院の木簡 5ー 調理担当者（？）への飯の支給伝票		
35☆	西大寺食堂院の木簡 6ー カブの漬物の付札（？）		
木簡を複製する			
36	直書き手法のレプリカと木簡 1ー 「鷹所」所属の人物を列記した木簡		
37	直書き手法のレプリカと木簡 2ー 「塩殿」に収めた米などを請求する文書木簡		
○ 38	写真を焼き付けたレプリカと木簡 1ー 牛乳を持ってきた人への米支給の伝票木簡		
○ 39	写真を焼き付けたレプリカと木簡 2ー 出雲臣安麻呂の勤務評定木簡		
40☆	熱転写用紙で文字を印刷したレプリカと木簡 1ー 栗拾いの使いへの飯支給伝票		
41☆	熱転写用紙で文字を印刷したレプリカと木簡 2ー 波太部万呂が納めた大豆の荷札		
木簡を守り伝える			
42	再処理を施した木簡 1ー 「建物名＋鎰」を列記した木簡		
43	再処理を施した木簡 2ー 駿河国からのカツオの荷札 2		
44	再処理を施した木簡 3ー 兵部省からの兵衛の呼び出し状		
45	再処理を施した木簡 4ー もち米の粉米の支給伝票		

☆は「地下の正倉院展」初出品、◎は国宝、○は重要文化財を示します。また、展示番号のゴシック数字は、展示リーフレットに写真が掲載されているものを示します。木簡の内容の詳細は、各会期の解説シートをご覧ください。

～各コーナーの構成に際しては、特に以下の文献等を参照しました～

【木簡の年輪を測る】

- ・星野安治・浦蓉子・山本祥隆「年輪年代学的手法による木簡研究の可能性」(『木簡研究』第40号、2018年)
- ・奈文研埋蔵文化財センター編『埋蔵文化財ニュース 181 木簡の年輪年代学』(株式会社明新社、2020年)

【木簡のカタチをとらえる】

- ・山口欧志「文化財のデジタル文化資源化：見たままの姿を伝え、深層を探る」(奈文研編『デジタル技術で魅せる文化財―奈文研とICT―』株式会社クバプロ、2018年)

【木簡のウラをよむ】

- ・山崎健「馬の貢進・貝の貢進」(『条里制・古代都市研究』第33号、2018年)
- ・山崎健「上総国・下総国の貝類利用 ―地域における生業研究の一試論―」(『奈文研論叢』第2号、2021年)
- ・山崎健「西大寺食堂院SE950出土の動物遺存体 ―第404次」(『奈良文化財研究所紀要2021』2021年)

【木簡を守り伝える】

- ・松田和貴・高妻洋成「PEGが溶出した出土木簡の高級アルコールを用いた再処理」(『奈良文化財研究所紀要2017』2017年)
- ・松田和貴・藤間温子・高妻洋成・渡辺晃宏「木簡削屑の保管を目的とした中性紙製容器の新規開発」(『奈良文化財研究所紀要2018』2018年)